

人間総合学群 人間文化学類 人間関係専攻							
氏名	大貫恵佳	職名	准教授	専攻分野	社会学	学位名	修士(文学)
主要業績(著書・研究論文併せて5点以内)							
<p>(研究論文)</p> <p>「アレクシナ B. の奇妙な幸福——フーコーにおける『監禁的なもの』と『司法的なもの』」『社会学年誌』55号, 早稲田社会学会, 2014年3月(単著).</p> <p>「フーコーのマグリット論——可視的なものと言表可能なもの」『三田社会学』20号, 2015年7月(単著).</p> <p>「ミシェル・フーコーにおける自由主義の問題——パノプティコンから統治しやすいホモ・エコノミクスまで」『駒沢女子大学 研究紀要』第22号, 2015年12月(単著).</p> <p>(著書〔分担執筆〕)</p> <p>『コミュニケーションの社会学』有斐閣, 2009年12月(編者:長谷正人・奥村隆/本人担当部分:第6章「権力というコミュニケーション」).</p> <p>『文化社会学入門』ミネルヴァ書房, 2010年10月(編者:井上俊・長谷正人/本人担当部分:「イメージ化する日常生活」, 「食生活の変容」, 「結婚式の文化」).</p>							
最近5年間の業績(2018年度~2022年度)							
<p>(研究論文)</p> <p>「パンデミックと剥き出しの生——『生命か経済か』という問いがつけつけるもの」『現代社会学理論研究』第15号, 2020年3月(単著).</p> <p>(研究報告)</p> <p>「『権力の空白』と民主主義——G. アガンベンの主権理論から考える」早稲田社会学会第70回大会(於:早稲田大学戸山キャンパス), 2018年7月(単独報告).</p> <p>「権力はなぜ分割されるのか——政治のアルケーとしての『例外化』」日本社会学理論学会第14回大会一般報告(東洋大学白山キャンパス), 2019年7月(単独報告).</p>							